

小さなことから全力で!地域に出ませんか?



地域交流を行う本校の生徒達。どうも有難う!!

毎日とても暑いですがいかがお過ごしですか?
看護医療類型では夏休みを活用して、地域交流に多くの人が参加してくれています!7月15日は看護医療類型の2年生で、尼崎市立社会福祉施設あこや学園で、発達特性を持つ子ども達と交流を行いました。18日には有志生徒達が防災ジュニアリーダーとして神戸学院大学で行われた減災へのワークショップに参加し、被災地の高校生達とも交流を行いました。さらに26日には社会福祉法人喜楽苑で、高齢者や子ども達向けに防災ゲームを行いました。学校の外へ出て、年齢の異なる人と交流し、自分達の見識を深めています。何よりも生徒の活動が看護医療・健康類型を支えています。まだまだ活動予定がある!ぜひご参加ください!

縦と横のつながり。素敵でした! 担当者のつぶやき

7月25日に第二回のオープンハイスクールが行われました。看護医療類型には60名以上の中学生が見学に来てくれました。会場準備、当日の受付、司会進行、シンポジウムなどの運営、後片付けも含めて、看護医療類型の在校生と卒業生の皆さんが行ってくれました。お手伝いに来てくれた人達、どうも有難うございました。1期生の卒業生で実際の看護師として務めている先輩や現在看護学生をしている先輩のお話を中心に、在校生と中学生の交流会、卒業生と保護者の交流会などとても有意義な時間となりました。終了後は、現場で働く卒業生の先輩達に在校生が質問する姿もありました。看護医療類型が持っている「縦のつながり」と「横のつながり」の強さや素晴らしさを、改めて感じる事ができました。自分の得意不得意というのは、自分の知っていることからしか選べないものです。だからこそ知らないものに飛び込める人は可能性や選択肢も広がります。「まずやってみる!」を支える場でありたいと思っています!



【情けは人の為ならず。巡り巡って自分に返ってくる】

2年生の探究学習では、夏休みを利用し班ごとに行政や大学、地域施設に聞き取り調査を行います。先日、地域包括支援センターへ訪問して、職員から以下のようなお話を伺いました。
「高齢者や介護を必要とする人、全員に行政の支援が行き届いているとは思えません。どうしても上手に他人と繋がれない人がいて、そういう人ほど実は困っています。だからこそ若い時から地域の交流を大切にすることがあると思います。歳を取ってから人は急にはできません。だから今からつながる練習をしていけば、いざという時自分と大事な人を守ることに繋がると考えています。」

【情けは人の為ならず。巡り巡って自分に返ってくる】

地域が見えにくい世の中になっていると思います。でも「周囲の人間関係」と「スマホの画面」だけが全てではないと思いました。誰もが高齢者になるし、障害を持つこともあります。これらを自分事と考え、「地域のつながり」を大事にして欲しいと思います。人と関わるのって面白いで!一緒に行きましょう。